2019 年度　ＦＤ活動報告

人間社会システム科学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・人間社会システム科学研究科教育運営委員が主体となり，当該研究科全体の FD 活動を実施している．

・授業内容に関するアンケート(通称・大学院アンケート)，修了予定者アンケートを実施し，その結果を研究科教育運営委員会で共有し，FD 活動を促進している．

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2019/4/25	大学院生向け研究倫理審査申請説明会	研究倫理委員会	68

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
研究科教育運営委員会	FD 関連事項の有無は開催月の状況による	9	10

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー･委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	５人　／　５人中（臨床心理学分野）

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	1	5	単なるピア「参観」にとどまらず，複数教員が授業計画作成，運営，実施後の意見交換など綿密に実施している（科目によっては専攻横断的に実施）．この他，他の教員の授業を随時参観している．また「人間社会学特別演習Ⅰ」，「人間社会学特別演習Ⅱ」，「現代システム科学特別演習 2」では院生による研究報告としての全体発表会が実施され，専攻の教員が参加し，他の教員と経験交流の機会を持った．
後期	1	5	
年度合計	2	10	

６　その他取り組みの具体的実施状況

1. 授業内容に関するアンケート（自由記述方式）を全分野で実施し，結果を教育運営委員で共有した(定例教育運営委員会での書面での報告による)．また，授業担当者にアンケートの内容を伝えた．
2. 修了生アンケートを実施し，そこから意見要望を抽出し，研究科としての対応を研究科長に求めた(2019 年度は、修了生アンケートの質問項目の見直し、研究科内での共通化を図った.修了生アンケートの元となるアンケート形式は、現シス専攻で従来より実施していたものを参考とした)．そのなかで各専攻において対応すべき点は，各専攻主任の責任において対応することにした（現シス専攻)．
3. 専攻横断的授業に関して，授業担当者任せでなく教育運営委員会課題として調整した．
4. 公認心理師科目の履修にあたり学生の利便性を高めるために，標準履修課程の見直しを行い，1 科目を追加した（環境システム学分野認知行動論コース)．
5. 修士論文を執筆する院生の便益を図るべく，修士論文関連書式のアップデートを各分野の教育運営委員が行い，改訂された書式(フォーム)を研究科サイトにアップして、院生の利用に供することを開始した．